

モニターレポート（6月報告）

【報告内容①】

阿賀野川沿いの公園の草は綺麗に整理され、整備がまだのところもありますが、これから公園を人々が利用していくと思うととても楽しみです。

小杉で護岸工事をしていたので工事の人に話を聞くと、川の流れがあり護岸が削れて危ないので、植栽を切りながら整地しているとのこと。川の水量が上がると流れが護岸の方まで迫るため、これからの雨季に際し心配が募ります。

【事務所からのコメント】

阿賀野川の公園については、本当に綺麗に維持管理されており、多くの方に利用していただけるのは河川管理者としても大変嬉しく思います。

報告にありました小杉・蔵岡地区での護岸の工事につきましては、この場所は、河川の水あたり部で川底が深掘れしている箇所となっており、このまま深掘れが進行すると堤防に影響を与える可能性が高いことから、対策として今年度より実施しております。今の時期は出水期であり、いつ洪水が発生するか分かりません。河川管理者として、周辺自治体など関係機関と連携を図り、防災に努めていきたいと思っております。

【報告内容②】

阿賀野川の堤防の除草も終わり、水田の緑と相まって、とても綺麗で生命力が感じられます。占用地では後継者不足など大変かと思いますが、手入れをして美しい田園風景を残してもらいたいものです。

胡桃山出張所の上流200mくらいの所や、左岸新潟バイパスの橋の西詰の辺りにオオキンケイギクが咲いていました。殆どが草刈りをされ見えなくなりましたが、大阿賀橋の東詰には未だ残っており、種が飛んで阿賀野川の堤防に移る可能性があります。

阿賀野川河川敷にあるクルミの木にアメシロが発生しています。近くの畑の方が、クルミの木の影で日当たりが悪く、更にアメシロが大量発生した時は野菜にアメシロが付き困った経験があり、今はほとんど作付けをしていないと話していました。

【事務所からのコメント】

阿賀野川の河川敷の耕作は、全国的にもあまり見ないものです。河川内であることから、色々と制約があるのも事実ですが、昔からの風景は貴重なものであると感じています。

ご報告のオオキンケイギクについては、河川管理者としても注視しており、河川巡視や堤防除草で監視・対応を実施しております。また、河川敷のクルミの木のアメシロにつきましても、河川巡視などで見ていき、公園管理者とも調整を図っていきたいと思っております。

モニターレポート（6月報告）

【報告内容③】

安田インター下沿いで不法投棄のゴミを見つけました。小型冷蔵庫2台と石油ファンヒーター1台が捨ててありました。不法投棄禁止の看板がありますが、夜中に捨てに来るのでしょうか。私有地の畑があるため、車の進入禁止には出来ないのです、難しいところです。

【事務所からのコメント】

当所が管理している区間の阿賀野川は、市街地から近く、川に入りやすい環境になっているだけでなく、樹木で先が見えにくい場所もあり、ゴミの不法投棄がしやすい環境になっています。当所でも、注意看板を立てたり、夜間・早朝巡視を取り入れるなど、対策を講じていますが、抜本的な解決方法がなく、なかなかゴミは減らない状況となっております。不法投棄は一人一人のマナーの問題であることから、地域の皆様でのクリーン作戦などの地道な活動によって、個々人を啓発することが一番大切だと思っています。

【報告内容④】

先日、早出川から繋がる水路でライギョを釣りました。ライギョは再放流が禁止されておりますが、どのように処分するのが良いのでしょうか。

阿賀野川河川事務所のホームページの河川愛護モニターのページにおいて、現在の月毎の報告掲載ではなく、報告内容別による掲載にしてみてもどうでしょうか。閲覧者が、知りたい情報に行き着きやすくなると思います。

【事務所からのコメント】

堤外地でライギョを釣った場合の処分につきまして、一般常識としては持ち帰ることが良いかと思いますが、どうしても処理できない場合は、最寄りの内水面漁業協同組合にご相談くださるとよろしいと思います。

ホームページへのモニター活動の報告掲載方法について、貴重なご意見を頂きありがとうございます。広報の仕方につきましては、ご意見を参考に検討していきたいと思っています。